



直方南小学校だより

令和7年6月19日(木)

直方市立直方南小学校

No.11 校長 塩田 朋久

直方南小学校のあゆみ④ ～大正時代の様子～

大正時代の服装



大正時代の服装について記述がありました。およそ100年前ー。

アニメ「鬼滅の刃」の時代設定と同じ時ですね。

服装は自由で、ほとんど全員「着物」でした。体操シャツやパンツをはくようになったのは1920年(大正9年)ころから。それも全員ではありませんでした。「洋服」は男女とも大正12・3年ころから普及し始めました。はきものは、下駄(げた)か藁草履(わらぞうり)で、鼻緒がよく切れたそうです。雨が降ると、はだして登校。運動靴などまだなく、遠足の時でも「わらじ」か「藁草履」をはいていました。今では、考えられない服装ですね。



1911年(明治44年) 初代「勘六橋」



1910年ころの新町風景(白い線は遠賀川)



児童の士気を鼓舞し、校風発揚に大きな役割を果たした行進歌です。運動会や集会の締めには毎回歌われていました。(つつく)

南小に「行進歌」が存在していた

大正時代からしばらく歌われていた行進歌です。

直方南校行進歌

1. 東鞍手に 名を得たる
石炭(スミ)の都の南校
集う千余の 我らこそ
我が日の本の 健男子
2. 流れも清き 嘉麻川辺
隊伍堂々 意気高く
行進の音 高らかに
足並みそろえて進むなり